

成長と革新 飛躍する山梨県企業

金型加工・品質管理に強み



▲21年に増床した津軽工場(青森県五所川原市)

エノモト
エノモトはリードフ エナプル端末というレームやコネクタ用 情報通信機器や自動車部品の製造を金型製作 車部品に使われていからプレス、メッキ、樹脂成形といった生産工程まで一貫して手が 来培った金型加工技術 ける。リードフ レーム はトランススタなどの パワー半導体やLED 工場(山梨県、青森 などのオプトデバイス 県、岩手県)と海外 ス、コネクタ用部品 (中国、フィリピン) はスマートフォンやウ に生産拠点をもち、2021年に青森県 の拠点を約2倍に 増床、23年には中 国の拠点でメッキ 工程を増強。 既存事業の一方 で、山梨県おひ 山梨大学と共同で 燃料電池向け部品の 研究開発を進め ている。量産体制 の構築を目指して おり最先端分野で の一層の成長が期 待される。

エノモト



▲甲府市の米倉山では太陽光発電の余剰電力を使い、グリーン水素を製造・供給している

全国的に人口減少、国際情勢の不安定化、エネルギー市場の変動など、社会の前提そのものが大きく揺らぐ時代に地方自治体には従来の延長線上ではない「新たな急務」が求められている。長崎幸太郎知事は「山梨県はこうした構造変動に対し、現場発の挑戦を重ねること、地域の強みを活かして」かした独自の産業モデルを築いてきた。その核心には、「挑戦」と「公益追求」を併せ持つ甲州的精神がある」と心強い。

産業政策 「ふるさと強靱化」が基盤
2026年度の産業政策 は、まず地域の生活と産業を軸に、山梨県の優位性を外部環境の変動に左右されにくい状態にする「ふるさと強靱化」を基盤として、一つには「ふるさと強靱化」と産業基盤の安定化が、山梨の戦略の先導性は見事だ。20年以上にわたる、水素エネルギーの活用や再生可能エネルギー導入に積極的の取り組んでおり、エネルギーの地産地消モデルを確立しつつある。これにより、企業活動の安定性は向上し、災害時のレジリエンスは強化、そして

外部の知見・資本取り込み新産業創出

脱炭素社会への対応にもつながっている。こうした複合的な効果が期待される。立地する東京エレクトロニクスに代表される大手優良企業だけでなく、中小企業の競争力強化にも力点は置かれている。「県内には精密機械、宝飾、ワインなど全国的に評価の高い地場産業が存在する」(長崎知事)。これらの企業群に対し、①技術革新支援②販路開拓③ブランド強化といった施策を組み合わせることで、競争力の底上げが図られている。そして注目すべきは「開創」を推進する「開創」(かいは)の国 戦略と新たな価値創出だ。県のもう一つの柱は外部の知見や資本を積極的に取り込み、新産業を生み出す「開創」(かいは)である。

首都圏近接という地理的優位性、東京圏からのアクセスの良さは、企業誘致や人材流入の面で大きな強みとなっている。また、本社機能の分散先としての魅力も兼ね備える。小淵沢のようなりんどう地はレジャー拠点としての適性が高い。同時にスタートアップの実証フィールドとしての価値が高まっている。

一方、開創は日本ワインの産地だ。日本ワインとは国内で栽培されたブドウを100%使用して、国内で醸造されたワインのこと。中でもトップで全体を牽引するのが山梨ワイン。中でもワイナードウ「甲州」種の評価は国際的にも高い。山梨県は農業振興公社などを通じて「甲州」の復活に時間と金を投じてきた。2025年度まで多年にわたる、醸造用甲州の安定供給・生産拡大を図るため、「醸造用ぶどう安定取引推進会議」を設置し、農家とワイナリーのマッチングを推進するとともに、新たに開始する醸造用ブドウの栽培に助成してきた。6次産業化の点火剤でもあった「山梨県農業振興課 果樹課の担当者」といふ。そうした努力は生産者に経済的にも還元されている。

さらなる増産体制を構築



▲新工場は作業スペースを2.5倍に拡大。増産体制を構築した

オーテックメカニカル
オーテックメカニカル 超える。ル(山梨県南アルプス市、手塚明彦社長は、ベアースマシンは業界ト1984年の創業以、自動組立機、自動検査機といった省力機械の開発・設計および製造・販売を手がける。「高速化」「小型化」の技術において高い評価を受け、医療器具をはじめ、車載部品、電子部品などの業界への納入実績は千種類を越えている。2年前に移動した新工場では2.5倍に拡大した作業スペースを生かして生産工程を同一フロアに集約。今期は過去最高売上を見込み、一層の増産体制構築を進めている。

オーテックメカニカル

ササキ

宮城に新棟、7月稼働



▲半導体市場の拡大に対応(宮城本部新棟イメージ)

ササキ(山梨県韮崎市穂坂町宮久保1-155の1佐々木啓一社長は半導体製造装置を中心に航空・宇宙・防衛、自動車R&Dなどへ向け、高品質なワイヤハーネスの製造や電子機器組立を手がける。市場拡大に即応するため、宮城県大和町で建設を進めていた宮城本部新棟が2026年6月に完成、同7月に稼働する。新棟は2階建て、延べ床面積1万454.33平方メートル。自動倉庫などを活用した在庫管理のデジタル変換(DX)化で増産体制を強化するほか、目視の製品検査からAI(人工知能)画像解析へ移行し、検査時間を70%以上短縮するなど作業負担の大幅な軽減の実現を進めている。また、働きやすい職場づくりに注力して人材基盤をさらに強化し、最新設備と人材力の両輪で成長市場の開拓に挑み続ける。

メイコー

国内最大級 クリーンルーム



▲国内最大級のクリーンルームを備える

メイコー(山梨県甲斐市、上野慶太社長)は半導体・液晶・二次電池関連企業を主要顧客とし、真空・プラズマ技術を活用したOEM(相手先ブランド)生産、生産やODMをメインに手がける。8棟ある工場のうち、4棟がクリーンルームとなっている。クリーンルーム棟は全長200メートルの国内最大級を並列に配置、装置開発から設計・製造、梱包・出荷まで一貫して行える。また、5軸マシニングセンターなどの大型機械を駆使した機械・部品加工や熟練工による精密溶接も強みだ。自社製品は真空乾燥炉やプラズマ発生装置などを展開。燃料電池分野では、触媒層の形成を目的とした静電塗工装置を市場投入した。現在は機能を絞り小型・低価格化したモデル「MES Lab. RDE」を主力として、研究機関などに訴求するとともに、量産向け装置の受注につなげる計画だ。

私たちは必ずつなげる。もっと。

SASAKI
Connecting trust more.

株式会社 **ササキ**
ワイヤハーネス製造・加工、電子機器組立

https://sasaki-inc.co.jp/

あなたをどこかで支える。

エノモトの精密部品

■本社・営業部	山梨県上野原市
■本社工場(塩山)	山梨県甲州市
■本社工場(上野原)	山梨県上野原市
■津軽工場	青森県五所川原市
■岩手工場	岩手県上閉伊郡大槌町

株式会社 **エノモト**
上野原市上野原8154-19
TEL.0554-62-5111
エノモト

燃料電池用触媒層形成に用いる「静電塗工装置」
-Electrostatic Spray Device- for Fuel Cells Catalyst Coated Membrane

研究開発用途向け静電塗工装置
MES-Lab.
[MEIKO Electrostatic Spray for Laboratory]

特徴

- 高電圧とサックバック圧力の制御により最適な液滴形状を維持
- 100×100サイズ程度の触媒膜を塗工可能
- XYステージ搭載
- マルチノズル搭載可能

電気化学測定用の回転ディスク電極向け静電塗工装置
MES-Lab.RDE
[MES-Lab. for RDE]

特徴

- シンプルな操作性
- ローコスト
- AC100Vで動作
- RDE電極に合わせたカスタマイズ
- 卓上サイズ W560×H630×D550

株式会社 **メイコー**
〒400-0105 山梨県甲斐市下今井732
TEL:0551-28-5111 FAX:0551-28-5121
E-mail:eigy-mws@meiko-inc.co.jp URL:https://www.meiko-inc.co.jp/

自動組立機、自動検査機等の省力装置の設計・製作

AUTEC
AUTEC MECHANICAL

株式会社 **オーテックメカニカル**

〒400-0314
南アルプス市下市之瀬 1247-1
TEL.055-282-1382
FAX.055-284-3544
URL.https://www.autec.co.jp